

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 411 号	氏名	山筋 睦美
学位審査委員	主査 甲斐 雅亮	副査 中山 守雄	副査 黒田 直敬
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、特定の遺伝子を化学発光試薬や高分子プローブによって、簡便かつ高感度に検出できる手法を確立しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 化学発光試薬として、3,4,5-トリメトキシフェニルグリオキサール(TMPG)試薬を用い、老化や腫瘍化に関与しているテロメア DNA を標的遺伝子として、フルオレセイン-5-イソチオシアネート標識プライマーを用いた PCR、電気泳動およびサザンブロットを組み合わせた化学発光画像検出法を開発している。さらに、西洋ワサビペルオキシダーゼ(HRP)を導入したデキストランプローブを合成し、このプローブを化学発光画像検出に応用し、テロメア DNA の高感度検出を行なったものであり、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 TMPG 試薬を用いる方法により、約 50 細胞中に含まれるテロメア DNA を検出している。さらに、HRP 導入デキストランプローブを用いることで、TMPG 検出法よりも約 6 倍高い感度が得られたため、今後の遺伝子解析や生体機能解明研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は遺伝子解析や老化・ガン研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			